

投資開発事業



事業概要

投資開発事業では、不動産事業の強化および新事業への参入により、事業領域の拡大を図っています。不動産事業では、賃貸事業、開発事業のほか、再開発・土地区画整理事業にも取り組んでいます。新事業では、社会の新たな需要に応えるため、再生可能エネルギー発電などのエネルギー事業やPPP/コンセッションなどに取り組んでいます。

これからも、変化する社会のニーズを的確に捉え、環境・社会の課題解決に貢献するさまざまな事業への投資を積極的に行っていきます。

主な事業



再開発事業
多治見駅前南地区第一種市街地再開発事業(完成予想パース)(岐阜県多治見市)



不動産賃貸事業
三明ビル(東京都中野区)



不動産賃貸事業
FUSION+ビル(大阪市天王寺区)

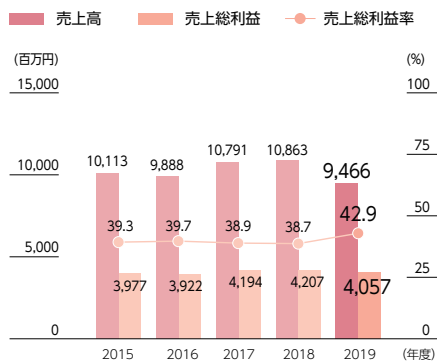


BtoC事業 コワーキングスペース[あべのトラス](大阪市阿倍野区)

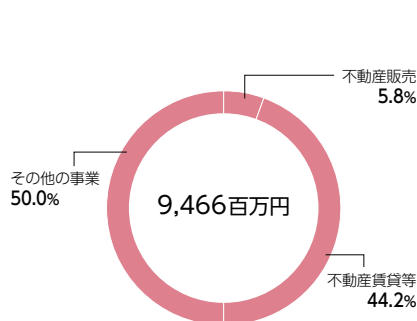


投資開発事業の業績(連結)※

売上高・売上総利益(率)



売上高内訳(2019年度)



※各グラフには、建設資機材等の製造および販売に関する事業を含む

投資開発事業本部長メッセージ

投資開発事業では、「2030年に向けたビジョン」の実現に向けて、持続的な成長を支える事業領域の拡大および事業環境の変化を見据えた収益基盤の多様化を実現するため、不動産事業の強化とともに建設事業以外の新事業領域にも参入していく方針です。

具体的には、「中期経営計画(2019~2021年度)」に基づき、不動産事業と新事業において積極的に投資を進める計画です。不動産事業においては、優良なアセットへの投資および保有資産の最適管理によって、賃貸事業における収益基盤をより強固なものにするとともに、開発事業における住宅・オフィスなどの新規不動産開発およびリノベーションなどの既存ストックの有効活用を進め、さらには市街地再開発事業などにも注力していきます。新事業においては、再生可能エネルギーに関連する事業のほか、ベンチャー企業などの連携によるオープンイノベーションを活用した新ビジネスや新商品の開発にも取り組み、積極的に新たなビジネス機会の発掘を図ります。

社会のニーズの変化を見据えた事業を展開し、社会の持続的な発展へ貢献する総合インフラストラクチャー企業を目指します。



投資開発事業本部長 原田 治

投資開発事業の主な取り組み

- | | |
|---|---|
| 不動産開発
●不動産開発事業
●不動産賃貸事業
●市街地再開発事業 | 新事業開発
●PPP/PFI、コンセッションなどの公共施設運営事業
●再生可能エネルギー事業(バイオマス、バイオガス、小水力など)
●BtoC事業(コワーキングスペース[あべのトラス]など) |
|---|---|

TOPIC

再生可能エネルギー事業(バイオマス発電)への取り組み【石狩バイオマス発電事業】

北海道の石狩湾新港地域(石狩湾新港工業団地)内において、2018年12月より51,500kWのバイオマス専焼火力発電所の事業化に着手しています。

2019年10月にプラント建設に着手しており、2022年8月の運転開始に向け、プロジェクトは順調に進捗しています。石狩市が再生可能エネルギー由来の電力を100%使用することを旨とする「再エネ100%ゾーン」に設定されている当新港地域において、低炭素社会の実現に貢献していきます。



発電所予定地(建設中)

PPPによる公共インフラ事業(下水道)への取り組み【柏市下水道管路包括維持管理業務委託】

下水道管路の老朽化対策は、自治体の担当職員の不足や厳しい財政事情などから、多くの自治体の共通の課題となっており、ストックマネジメントにおける官民連携手法の導入に関して各自体において活発に検討されています。

当社は、柏市下水道管路包括維持管理業務委託に参画していますが、本業務委託を通じて得られたノウハウを活用しながら、これからも持続可能なまちづくりに貢献していきます。